年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　芸術(美術科) 科目 素描(彫刻)

教　科： 芸術(美術科)　　科　目： 素描(彫刻)　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 2 組

教科担当者：（　　）

使用教科書：（　　）

教科　芸術(美術科)　　の目標：

【知識及び技能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　素描(彫刻)　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。	対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力，判断力，表現力等を育成する。	造形表現を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
前期	単元　石膏木炭デッサン(青年マルス像) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、青年マルス首像を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　青年マルス首像のイメージや空間を表現するために、描画材を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】　アドバイスを取り入れ、より良い作品制作に取り組む。	・指導事項　木炭紙と木炭の特性と形態の正確な把握と描写について ・教材　石膏像　木炭　木炭紙 ・一人１台端末の活用　作品を撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 青年マルス首像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	20
	単元　石膏木炭ﾃﾞｯｻﾝ(ﾊﾟﾙﾃﾉﾝｳﾞｨｰﾅｽ) 【知識及び技能】石膏像をよく観察し正確に形体を把握し、木炭を適切に扱う。 【思考力、判断力、表現力等】　対象を表現するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　アドバイスを取り入れ、より良い制作活動に取り組む。	・指導事項　木炭紙と木炭の特性と形態の正確な把握と描写について ・教材　石膏像　木炭　木炭紙 ・一人１台端末の活用　作品を撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 石膏像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	15
後期	単元　石膏木炭デッサン(マルス胸像) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、マルス胸像を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　イメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　積極的に材料に触れ、工夫をし人の作品にアドバイスを入れ育む。	・指導事項　木炭紙と木炭の特性と形態の正確な把握と描写について ・教材　石膏像　木炭　木炭紙 ・一人１台端末の活用　作品を撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 マルス胸像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	20
	単元　人体木炭ﾃﾞｯｻﾝ(女性ヌード) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、女性ヌードモデルを深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】　人体デッサンを把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】　積極的に材料に触れ、工夫をし人の作品にアドバイスを入れ育む。	・指導事項　木炭紙と木炭の特性と形態の正確な把握と描写について ・教材　石膏像　木炭　木炭紙 ・一人１台端末の活用　作品を撮影し講評と振返りを入力する	○			○	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 女性ヌードモデルのイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	15 合計 70